

オープンしてから一カ月後に主人とえんぱーくを見学してきました。3階までぐるりと廻つてからの私の一声は、「年間どの位の人が利用するのかしら」とか、「お年寄りの人にはなんだか無縁のところね」と、心から喜べない私です。街の中心部に完成しましたが高出や広丘地区に住む人達にとって、やはり遠く感じ、免許の持たない私を含め、今後足を運ぶことは年間数えるほどだと思うのです。



堅石 塚原恭子さん

えんぱーくの一角に元気なお年寄りのためにいこいの場が設置できたらステキだと思います。巨額な資金を投じてまで果たして市民の声が行き届いての計画だったのでしょうか。私の考えですが、地区別に小さめのえんぱーくがあったら…。幼児から高齢者まで楽しく参加出来る交流センターは、私の夢だったようです。

## 市民の声

この4月から初めて、地元である「塩尻情報プラザ」に勤務しています。

### 地域のために



宗賀 智さん  
武居 智さん

2000年4月に開館し10周年、30万人の方が利用している、全国的にも素晴らしい施設であります。情報体験ギャラリー、各種パソコン講座(はじめてのパソコン講座から専門的なAccessソフト、パソコンで絵を描く水彩サークル等)塩尻市光ファイバーネットワークの維持管理を行っています。その中でも特に驚いたことは、中高年の受講生が多いということです。7月にえんぱーくがオープンして来館者数の動向が気になってきたところですが、減るどころかえんぱーくの休みの水曜日には従来にもまして来館者数が増えている状況であり、相乗効果の表れだと思っています。今後も一市民として愛される情報プラザを目指して、頑張っていきたいと思います。

## 市議会レポート

### えんぱーく開館から一カ月。利用状況は?

7月29日にオープンした市民交流センター「えんぱーく」。開館から一カ月あまりが経ち、その利用状況について今定例会の一般質問で数名の議員から質問がありました。8月31日現在で、来館者数は延べ7万3千265人で、一日平均約2千200人。えんぱーく



9月16日市民交流センター来館者10万人達成

整備計画での想定来館者数は、年間40万人。一日平均約1千100人の計画で、この一カ月間では想定数の約2倍の来館者があったことになりました。図書館では、新図書館利用に必要な貸し出し用カードの新規発行件数は2千200件。例年の新規発行数は年間1千件程度であり、すでに例年の約2倍の登録がありました。子育て支援センターの利用者数は3千855人。昨年の年間利用者数は5千770人であったことから、今年はそれを大きく上回る利用者が見込まれます。利用者の地区別割合は大門25%、広丘21%、高出11%、吉田8%、その他市内全地区からの利用があり、市外からも16%の利用がありました。県内外からの視察依頼や問い合わせも多くあり、広い地域からも注目されているえんぱーく。今後も継続的に活用されるような運営が求められます。

## 議会あれこれ

◆今後の市財政は大丈夫か。周辺整備を含めて約60億円かけて開設した市民交流センターの年間維持費は3億8千万円と試算される。合併特例債利用の建設で負担分は少ないとはいえ、箱物は毎年維持費がかかる。新体育館の建設には慎重な対応が必要だ。

◆議場内の音響設備が改善され、傍聴席も聞きやすくなりました。質問の持ち時間が1分を切ると秒単位で表示されるといので、是非見てみたいという期待がふくらむなか、これに添えたのは唯一、最終日質問の1人の議員でした。表示の数字がどんどん変わっていくので、中には、壊れたのかと、びっくりした議員もあつたとか!秒単位表示を期待していた議場内から終了時に拍手もありました。

◆広報委員会での一場面。

「議会は議論するところではない。」との議員の原稿を発見した。議会映像ライブラリーで確認したところ「あなたの演説の場所でもありません。」との答弁内容でした。

## 12月定例会の予定

12月 1日	開会日
9日	
10日	代表・
13日	一般質問
14日	
15日	委員会審査
16日	
17日	
20日	
12月22日	閉会日

会議の日程は変更になる場合があります。

## 議会広報委員会

- ◎山口 恵子 ○古畑 秀夫
- 金子 勝寿 石井 新吾
- 永井 泰仁 森川 雄三
- 中原巳年男 鈴木 明子

◎委員長  
○副委員長